

# なら国際映画祭

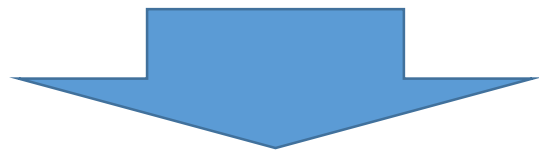
世界の人々が集い、交流する国際映画祭として2010年に始まる。奈良市で2年に1回開催され今年、第5回目を迎える。

「世界中の多くの人々が、奈良で出会い、奈良のすばらしさを知ってほしいと考えています。そして、映画祭の体験、映画祭での出会いが、特に若い世代に未来への希望やチャンスをもたらすと願っています。」(エグゼクティブディレクター 河瀬直美監督)

- ・奈良の文化を世界に発信する素晴らしいイベント
- ・奈良市では他にも素晴らしい文化イベントが数多くある

現在奈良市では16の文化振興事業に対して補助金が支給されている

- ・補助額は5万円～300万円と幅が広い
- ・公募は行われていない
- ・補助額決定のプロセスが不透明



平成30年度予算では「なら国際映画祭」に2000万円の補助金が計上された

- ・全事業への補助額の68.9%を1事業が占めることになる
- ・客観的な要項がない

# 『奈良市文化振興補助金交付要項（案）』

- ・対象事業は3つのランクに振り分けられる



- ・100点満点の審査で50点以上が得られれば補助対象



- ・上限額は
    - ①ランクによって50万円・300万円・1000万円
    - ②事業総額-収入の半分
- ※①②の低いほうが上限額

# 3つのランク分け

## ◎市民文化活動(上限50万円)

文化・芸術に触れる機会の創出、次世代の担い手の育成又は地域に古くから伝わる伝統文化の保存若しくは普及のための取組など、市民の文化活動

## ◎広域参加型 都市文化推進事業(上限300万円)

地域が持つ文化資源等の活用や多様なジャンルの文化の交流を図ることで、市域を超えた参加や地域活性化が見込まれ、都市文化の推進に資する事業のうち、**広く市民が参加できる市民参加事業**

## ◎国際的発信型 都市文化推進事業(上限1000万円)

地域が持つ文化資源等の活用や多様なジャンルの文化の交流を図ることで、市域を超えた参加や地域活性化が見込まれ、都市文化の推進に資する事業のうち、**国際的な文化交流・発信事業**

# 『奈良市文化振興補助金交付要項（案）』

- ・対象事業はどのようにして決まるのか？  
（公募する必要があるのではないか）



- ・対象事業は3つのランクに振り分けられる



- ・100点満点の審査で50点以上が得られれば補助対象



上限額は

- ①ランクによって50万円・300万円・1000万円
- ②事業総額-収入の半分
- ※①②の低いほうが上限額



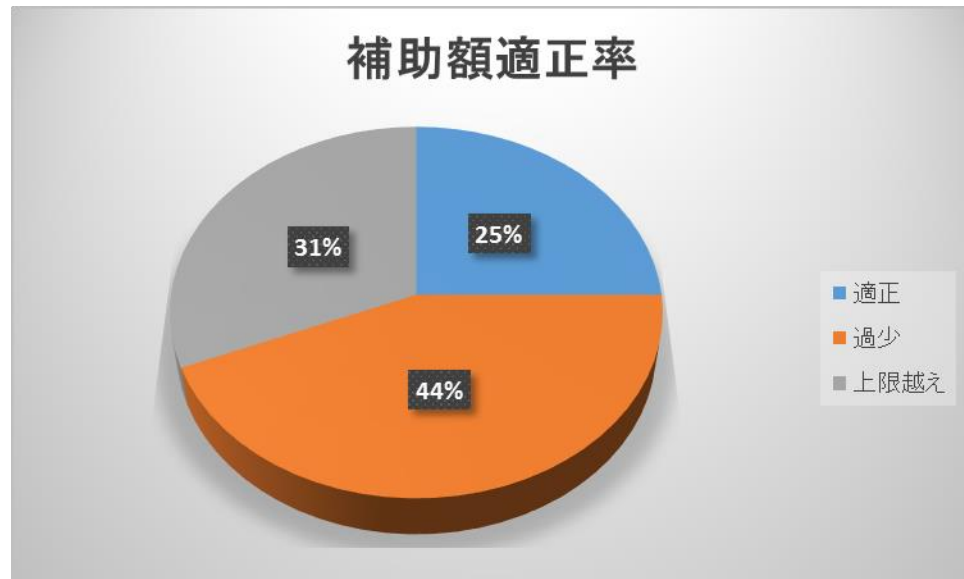
- ・実際の助成額はどのようにして決まるのか？  
（100点満点の審査は影響するのか）

# 補助対象の奈良市文化事業

市民文化活動(上限50万円)			
補助事業	補助額(千円)	対象経費-収入(千円)	補助率
奈良フィルハーモニー管弦楽団演奏会開催	50	114	43.9%
人形劇開催	70	54	129.7%
奈良市音楽協会定期演奏会開催	80	240	33.3%
春日大社清書会事業	100	165	60.6%
春日大社親と子の写生会事業	100	203	49.3%
奈良市ママさんコーラス協議会事業	140	373	37.5%
奈良市茶華道連盟芸術展開催	150	186	80.1%
奈良市文化芸術祭開催	150	274	54.7%
奈良市美術家協会事業	200	138	144.9%
なら燈花会能開催事業	300	192	156.3%
秋篠音楽堂運営協議会事業	300	314	95.5%
奈良市民合唱団演奏会開催	400	440	90.9%

広域参加型 都市文化推進事業(上限300万円)			
補助事業	補助額(千円)	対象経費-収入(千円)	補助率
学園前アートフェスタ事業	1000	2342	42.7%
市民フェスティバル開催	2000	1313	152.3%
春日野音楽祭開催	3000	4601	100%
トスティ歌曲コンクール事業	1000	760	131.6%

補助額が適正だと言える事業が25%しかないことから、要項が現実に沿っているとは言い難い。なぜ「なら国際映画祭」の補助額だけが早々に見直され、上限額に対して満額である1000万円の補助を受けるのか？



### < 透明性 >

- ・補助金の決定方法
- ・ランク分けの基準

### < 公平性 >

- ・公募の見込み
- ・他の事業に対する見直し  
(なぜ国際映画祭のみ見直すのか)